

かけはし (和木こども園だより)

(R8.5.1号)

<教育目標>

未来に輝く和木っ子の育成
～心ゆたかにたくましく～



(園章)

細い○は、地域の人々

3つの●は、園児、先生、保護者

4つの●は期待する園児像

- ・元気な子
- ・考える子
- ・優しい子
- ・がんばる子

URL <http://www.town.waki.lg.jp/kodomoen/index.html> 〒740-0061 玖珂郡和木町和木2丁目4-1 TEL52-2707 FAX52-2705

<令和8年度の努力点>

今年度は以下の点を
努力点としてまとめ、実践
に向けて取り組みます。



(健康)

体を動かす体験の中で「楽しい」「おもしろい」という積み重ねを大切に、「もう一度やりたい」「挑戦したい」と目標をもって挑戦しようとする環境づくりに努める。

(人間関係)

園の生活の中でいろいろな人とつながることを意識し
つながりの中で育つ力(思いやり・きまりを守ろうとする)
を大切にする。

(環境)

遊びの中で“わくわくするしかけ”をつくり、心を動かして主体的に関わる環境づくりに努める。

(言葉)

「いいことばの日」の取組の中でやさしく温かい言葉が飛び交う園づくりに努め、自分の気持ちや相手の気持ちを言葉で伝える喜びにつなげていく。

(表現)

音楽や製作活動を通して自由な発想を大切に、伝え合う楽しさを味わえるようにする。

(一貫教育)

園小中や地域との交流を通して、和木学園構想の「みんなが生徒、みんなが先生」を体験し「10の姿」でみつめながら、地域で共に育つ良さを共有していく。

(英語教育)

国際交流支援員と一緒に過ごす環境の中で自然に英語に親しみ、英語を楽しむ。

(その他)

ICT支援ツールを活用した保育の見える化により「こどもまんなか」の意識をもち、家庭と子どもの成長を共有し、連携して取り組む。

<みぎみて！ひだりみて！>



今年度から1号も加わり、園児全員が正面玄関での登降園となりました。こども園駐車場側となるため、2号3号の車の送迎の方は子どもたちの横断には十分に注意し、ゆっくりと進入してください。

こども園では「駐車場では親子で手をつないで歩く」というお約束があります。小さな子供たちの命を守るためにも大人がしっかりとルールを守り、安心安全な環境をみんなでつくっていきましょう。子どもたちに分かりやすいようにと駐車場前の足元に「みぎみて！ひだりみて！」という表示を貼りました。親子での「みぎみて！ひだりみて！」の習慣と大人の時間に余裕をもった優しい運転が子どもたちの大切な命を守ることに繋がります。

<こいのぼり揚げ式は町長さんと一緒に>

21日(火)に、こいのぼり揚げ式をしました。自慢の手作りこいのぼりを手にした子どもたちが園庭に全員集合しました。この日は坂本町長さんが挨拶運動で来園されていたので、ご一緒していただくことができました。全部屋を回り、子ども達にたくさんの声をかけていただいたおかげか、子どもたちも「さかもとちょうちょうさん」とすっかり名前を覚えていました。これからも和木町行政とこども園とでしっかりタッグを組んで子どもファーストで進めていきます。園の大きなこいのぼりは5月7日まで園庭を元気に泳いでいますのでご覧ください。



＜コミュニティ・スクール＞

『ひまわりの絆プロジェクト』



今年も「ひまわりの絆プロジェクト」が引き継がれました。このプロジェクトは、交通事故で亡くなった当時4歳の陽大(はると)ちゃんが、生前に育てていたひまわりの種を遺族から警察官が受け取り、花壇に植え付けたところ、大輪の花を咲かせたことから、全国でそのひまわりを咲かせ、交通安全と命の大

切さを伝えていこうという取組です。今年度も「大切な種」として年長組が丁寧に蒔きました。今年度は自分のポットを作り育てています。警察官の川野さんから「みんなも交通安全に気を付けましょう」とご指導があり種植えにもご協力をいただきました。今年も大きなひまわりが咲くのを楽しみにしててください。

『あいさつ運動』

月に1回、民生委員児童委員さんが挨拶運動に来られます。園小中すべてで活動され、和木町に元気な挨拶とあたたかい見守りをサポートしてくれています。いつも感謝です。



＜年長コーナー＞

4月14日(火)に、今年も役場前のロータリーで春の交通安全運動「スピードダウンキャンペーン」が実施されました。こども園からは、年長組39名が参加して運転手さんに元気よくスピードダウンをお願いしながら、一人ひとりがチラシ等を手渡しました。園のリーダーとして地域のために貢献できた初めての活動でしたが、大きな声で立派に務めることができました。リーダーとしての活躍が楽しみです。



＜年中コーナー＞



4月17日(金)ダビットさんと奥様のヨーコさんが来園し、年中組と一緒にジェンベという太鼓の演奏を楽しみました。最初は戸惑っていた子どもたちも太鼓の音色とダビットさんご夫婦の明るい性格にどんどん引き込まれていきました。音楽を通じてアフリカの文化を感じることができました。音楽は人を笑顔にし心をつないでくれます。

＜年少コーナー＞



ある日、中庭から楽しそうな声が聞こえてきました。そっと覗いてみると、自分で作った“ちょうちょ”

を棒につけてもらい、本物のシロツメクサやタンポポの花の蜜を飲ませてあげていました。「次は赤色のお花ね」「次はオレンジ色のお花がいいね」など、中庭のお花の色をたくさん見つけて楽しんでいました。

“ちょうちょ”を棒に付けるアイデアで子どもたちがこんなにも心を動かして主体的に動いている姿はまさに“ねらい”とする「わくわくするしかけ」ですね。

＜未満児コーナー＞



「おいしいね〜！」と机の下が汚れても手づかみになっても、自分で食べようとする思いがすばらしいですね。苦手なものは

「いやいや」と首を振っても、おとなりさんが食べていると「ちょっと食べてみようかな」という気持ちが芽生えます。

お家では、なかなか食べてくれない苦手な野菜も、みんなと一緒にの時は何となくパクリ！「食べるって楽しいね！」という気持ちを大切に育てています！

